

2010-2011



ライオンズクラブ国際協会
336 - A地区 2 R - 4 Z

2011年 **5** 月号
6 月号

No. 409

西条

結成50周年記念大会



ありがとう

SAIJO LIONS CLUB

SAIJO LIONS CLUB

2010-2011 年度

国際会長 シッドL・スクラッグス三世

モットー 「WE SERVE(われわれは奉仕する)」

テーマ 「希望の光」

336 - A地区ガバナー 宇高 昭 造

スローガン 「明るく、やさしく、心をこめて ウィ・サーブ」

キーワード 「希望」

西条ライオンズクラブ会長 徳 増 達 史

スローガン 「ありがとう50年、友の絆でWE SERVE」

キーワード 「POSITIVE」

思いがけず事業化となったYE交流、それも受け入れと派遣同時実行となり、その準備で慌しく結成50周年の幕開けとなりました。ニュージーランドから「SHAIさん」を受け入れ、塩出穂乃香さんをイタリアへ派遣し、受け入れに際しては、L・藤田様御家族、L・花山様御家族のご協力に心から感謝いたします。シャイさんは私達の心に、ふれあいの喜びを感じさせてくれるとともに、帰国の際に流した涙は受け入れして良かったという感動を与えて下さいました。また、イタリアより帰国した塩出穂乃香さんの成長ぶりを見るにつけ、YE事業の意義を痛感しました。出来ることなら、せめて周年時にはYE事業が出来るといいですね。

この事業では、寺川YE委員長の献身的な活動に頭が下がるばかりでした。YE事業の最中、クラブ事務局の益田さん念願の「2R親善スポーツ大会」の優勝を勝ちとることができ、50周年に花を添えてくれました。

『ありがとう』をキーワードに、【人に感謝、自然に感謝、歴史に感謝、やさしい社会はありがとうから】をテーマとして、記念事業第一弾、腰塚勇人先生の「命の授業」は中学生を対象に開催され、受講した生徒の中に人生の転機を感じて、生きる気力を取り戻した人がいたと腰塚先生のブログにメールがあったと聞いたとき、役に立てたとホットしました。私の中では、1名の生徒でもいいから、人生のターニングポイントになってもらえればよいと考えていました。私自身も先生の講演から「生きる強さ」と「命の大切さ」を学ばしていただきました。

第二弾、ありがとうメッセージの募集と作品集の制作は『ありがとうをあなたに』という形で完遂できました。全てを仕切ってくれた安藤第二副会長に謝辞を贈るとともに、選定に携わっていただいた多くのメンバーの努力の結晶の作品集となりました。この作品集が、やさしい社会の創造の一助になることを期待します。

記念事業第三弾、中島啓江氏の『わたしから ありがとう』の講演は市民に生きる強さを感じさせてくださいました。2つの講演会は50周年のテーマに相応しい事業となり、紹介の労と進行の労を担っていただいた野間委員長に心から敬意を表します。

記念式典は福島幹事が手がけたオープニング映像で感動を与え、高木Lと花山ZCの緻密な準備とリハーサルのお陰で西条ライオンズならではの進行のもと、中村県知事、伊藤市長、宇高ガバナーの来臨のもと、加藤大会委員長、寺尾実行委員長の呼吸のあった内容となり、他クラブより賛辞をいただきました。1時間ぴったりに納まった見事な式典となりました。祝宴は、伊藤委員長の細心の心配りにより会場のムード、料理の質、イベントの内容など、集うメンバーの感嘆のお褒めをいただきました。大変嬉しかったです。

式典開催よりひと月も早く開催した記念ゴルフ大会では、準備から当日の進行まで仁後Lにまかせっきりで、大成功に終わりましたこと、改めてお礼を述べさせていただきます。感謝しています。

平成23年3月11日に起こった東日本大震災は、長い支援を必要とするでしょうが、義援金の処理も含めて、次年度へ引き継いでいただき、明比次期会長に感謝申し上げます。

西条ライオンズクラブ全員で創りあげた50周年、一番良い想いをさせていただきお礼の言葉もありません。

本当にありがとう。



1年間大変御世話になりました。

ゾーンチェアパーソンという役務のお陰で、各クラブへ例会訪問をさせて頂く機会がありました。どのクラブにも規則を守りつつ楽しい例会運営をしている姿勢が見受けられてとても良い雰囲気でした。4クラブの例会訪問は大変意義深い事でした。それぞれ持ち味を出しながら頑張っておられました。又、会員増強の現状として、同好会の活動が充実しているクラブが、特に会員増強に繋がっていた様に思います。西条ライオンズクラブの会員増強は素晴らしいの一言に尽きます。

塩崎己年夫委員長をはじめ委員会の皆様、ご苦労様でした。さて、10月3日(日)には4ゾーンでの初めての合同アクティビティを「ビバ・スポルティア西条」にて、西条市障害者連合主催による「第6回ふれあい運動会」600人参加・4クラブからは50名の参加・競技10名参加・餅つきアトラクション40名参加で紅白餅600人分、なんとか作ることが出来ました。餅つきアトラクションには予想以上の反響があり、たくさんの方に喜んで頂きました。準備・当日に於いては何かと不行き届きな点があったかと思いますが、全て皆様の温かい御協力があったこそ、この様な良い「アクティビティ」が出来たと思います。皆様大変お疲れ様でした。



最後になりましたが、ホストクラブとして徳増西条ライオンズクラブ会長をはじめ、高橋学ZCAならびにサポート委員会・益田事務局には大変御世話になりました。

1年間、皆様の温かいご協力を頂き、心より感謝いたします。「ありがとうございました。」

感動の50周年に感謝して

会計 十亀興美

記念すべき西条ライオンズクラブ結成50年の年、名ばかりの会計ではありましたが、徳増会長のもと執行部の一員として、感慨深い1年、感動を共にさせていただきましたこと、本当にありがとうございました。世の中経済不況、政治の混迷、無縁社会という人心荒廃の厳しい環境の中に船出した徳増丸、しかも東日本大震災という、かつてなき大惨事の中での50周年、されど終わってみれば危機(ピンチ)はチャンス、を地でゆく形で見事克服し、メンバー一致団結して記念事業を推進し、感動の記念式典を開催できたことは、明日への本クラブの大切な財産を産み出したと思えること、そこには西条ライオンズクラブの、目に見えない伝統の力もはたらいたのではと、不思議さを感じました。

結成50周年、チャーターメンバーを父に持つ、二世の徳増会長の50周年への想いは強く、その信念をベースに、メンバーと共に「ありがとう」のメッセージは、次代を荷負う子供達への育成へと注がれてその成果を納め、大震災の衝撃は、家族の絆、地域の絆、本クラブの絆へと波及し、ライオンズ本来の奉仕活動の、今こそそのよみがえりへと魂をこめての記念事業、極めつけは、記念大会当日の台風直撃という事態に見舞われながらも、天与のはからい、見事有終の美を納められたことに、メンバー一同感動を共にできたのではと、「ありがとう」と感謝しているところであります。

『 今期を振り返って 』 テール・ツイスター 高橋 学

昨年7月に就任の意気込みを申し上げ、やっと任期となりました。
クラブの方、家族の方々、大変忙しい年をご苦労様でした。また、不出来なテール・ツイスターですみません。お世話になりました。
最初の2か月位は、「例会の回数」を後何回などと数える余裕がありました。また、例会進行等で「お気付きの点をご指導いただきたい。」などと、大口を叩き失礼しました。
ところが、「今期は、クラブ結成50周年記念の年」、種々の事業委員会が開催され、私には全てが未経験「月一度の理事会」「月3度の役員会」「周年事業実行委員会」「R・Z会合」など、一日の大半をライオンズが占めることとなり、これは大変な年だと気がきました。
また、周年事業内容が次々と決定し準備が進められている中、いろいろな担当の方が各々の役割を全うし、又詳細な打ち合わせを行う様に感動しました。
他クラブの方々から、会合等で「おほめの言葉(賛美)」を頂き「我がクラブメンバーの凄さ」に納得です。この感動を頂いたメンバーに感謝しつつ、「楽しいライオンズクラブ」の思いで過ごせるように努めたいと思います。1年間ありがとうございました。

『 一年を振り返って 』 ライオン・テーマー 土居恵三

西条ライオンズクラブ結成50周年の記念すべき年に、ライオン・テーマーを拝命し、3月からは幹事代行も兼務させて頂くこととなりました。至らぬ点多々有った事と思いますが、何とか責務を終える事ができました。皆様方のご指導、ご協力に深く感謝申し上げます。本年度は、永年お世話頂きました「黒猫レストラン」の閉店もあり、例会・理事会の会場を、西条国際ホテルへ変更致しました。また、50周年の記念事業に、皆さんと邁進した1年であり、西条ライオンズクラブの歴史の節目に執行部の一員として携われたことを、深く感謝いたします。次年度執行部の皆さんの御活躍を、心よりお祈り申し上げます。1年間、本当にありがとうございました。

『 今期を振り返って 』 会員理事 塩崎己年夫

今年は我がクラブにとって創立50周年という記念すべき節目の年でありました。この間、先輩方の意志を受け継ぎ責任の重大さを痛感しながら誠心誠意努力してまいりました。昨年7月6日、石鎚山に登り、神の御加護を祈ってより、早や1年が過ぎました。
靈験新たかなる結果を得られ会員一同喜びにたえません。
次年度は気持ちも新たにさらなる飛躍の年になりますことをお祈りいたします。
徳増会長はじめ執行部、メンバーの皆様の御尽力とご協力で新会員増強が達成出来ました。会員委員会一同大変喜ばしいかぎりです。1年間ありがとうございました。

【 2 リジョン年次会合並びに次期三役オリエンテーションに参加して 】

次期幹事 植木光夫

6月4日に次期三役オリエンテーション、6月5日に2リジョン年次会合と準備リジョン会議に出席しました。三役オリエンテーションでは、次年度三役の心構えを勉強しました。

翌日は、旧三役の労をねぎらい懇親会まで、新旧の親睦が深まりました。



【 次期クラブLT・TT・計画委員長・次期クラブ委員長スクール 出席報告 】

次期テール・ツイスター 伊藤 稔

2011年6月18日(土曜)ユアーズにて献血・献眼セミナー後、2R次期クラブ委員長スクールが行われました。私は、テール・ツイスター分科会に出席致しました。この職務内容と役割を理解できていない私には、大変有意義な勉強会になりました。また、他クラブの苦労されているところや努力されているところも参考になりました。講師の今治くろしまライオンズクラブの次期2R-2ZCの志賀勝則様に準備していただいた資料が、大変参考になりました。まず、「テール・ツイスターの職務」について話されました。「テール・ツイスター虎の巻」は、出席者から好評を得ました。1)テール・ツイスターの演出、2)教養・講座。3)クイズ・ゲーム 4)誕生日他、5)特別例会、6)ドネーション・オークション、7)マジック・ショー 8)メンバーの発表 この8項目について学びました。クラブによって、いろいろな個性を發揮されていることも大変参考になり勉強にもなりました。このような機会を与您いただきまして、ありがとうございました。今後の西条ライオンズクラブの発展と活性化のためにクラブ内で、できることから実行していきたいと思ひます。

第1192回 最終例会を終えて

テール・ツイスター 高橋 学

今期最終例会には「福島譲 幹事」も出席され、治療も順調そうで何よりです。ここ3カ月は「土居幹事代行」による報告でしたので、久しぶりの「幹事」による報告は“懐かしさと緊張感”を感じるものとなりました。

懇親会は、「ジャズビーンズ」の皆様による生演奏をBGMに入場。

「加藤 茂 大会委員長」の乾杯にて懇親会の開宴です。

大会委員長による「周年事業の総括」では、

皆さんの力で成し遂げた周年事業です。

式典・フォーラム・祝宴へ出席された皆様から、おほめの言葉を頂きました。

称賛を浴びるのは、大会委員長冥利です。

大変素晴らしかったと称賛を浴びるのは大会委員長です。こんなに素晴らしいことは、委員長を務めないといわれない。今後の周年事業の際に「大会委員長をお願いされたら、素直に受託するように！」と勧められました。

余興

「50周年記念式典・フォーラム・祝宴のビデオ観賞」

再び式典当日が思い起こされ、歓声や拍手が沸き上がりました。

アトラクション

「大石礼子さん」と「ジャズビーンズ」による“ジャズ生演奏”

を楽しませていただきました。



「キーの伝達式」では、“一仕事やり終えた感のある徳増会長”から“やる気に満ちた明比会長”にキーが渡されました。また、今期から一歩ずつ55、60周年へと「楽しいライオンズクラブ」が続けられますように祈念しつつ、盛大に懇親会を終宴。

【徳増丸の5役の方。50周年実行委員の方々。クラブメンバーの家族の方々。益田事務局員さん等々】

本当に50周年お疲れ様でした。



最終例会TOPICS



徳増会長から明比次期会長へ「キーの伝達」



次期会長のスローガン発表



例会出席 100%達成のメンバーです



次期会長より戴いた記念品を高らかに上げてSMILE



クラブアワード表彰 ~皆さんお疲れ様でした~



転勤の為、最終例会が最後となる山内浩二様に想いのこもった挨拶をいただきました。御活躍をお祈りしています。



2010 - 2011 年度 クラブアワード 受賞者

- | | | | | |
|-------------|---|---|------------|------------|
| 100%例会出席賞 | 伊藤修一郎・加藤誠也・花山志郎・原 育雄・仁後真貴雄・高木和幸
徳増達史・土居恵三・高橋 学・植木光夫・近藤基広 (11名) | | | |
| ツイスター協力賞 | 花山志郎・神野顕彰・塩出正照 | | | |
| 50周年記念大会功労賞 | 加藤 茂 | / | 地区役員功労賞 | 4 Z C 花山志郎 |
| ゴルフ部功労賞 | 仁後真貴雄 | / | スポーツ同好会功労賞 | 加藤弘道・安藤憲正 |

結成50周年大会特集

50周年実行委員長 寺尾信司

50周年という節目に実行委員長という大役を仰せつかり、どのようなテーマで50周年事業を進めるか討論してからあつという間の1年間でした。

「ありがとう」をメインテーマ事業を進めることを決定しそれから各委員長を中心に少しの紆余曲折はありましたが比較的スムーズに、各事業がとりおこなわれました。記念事業等の内容は立派でかつ手作り感にあふれた50周年記念誌に詳しく掲載されていますので、そちらをご覧ください。



一口に50年と言いましても、会社にしる組織にしる友人関係や結婚生活にしても50年を元気な状態で立ち会うことはめったにないことだと思います。その瞬間にメンバーが一緒になって取り組むことができたのは大変幸せなことでした。しかし50周年をクラブの集大成ではなく、100年へのまた新たな第一歩と捉えるくらいの余裕があったのも事実です。メンバーができること、得意分野で力を発揮しそのパワーを結集すれば無限の可能性を秘めた新しい奉仕の形を見つけることができるように感じました。

東日本大震災がおり人間のむなしさやはかなさを感じることもありましたが、人間のもつ力や勇気も肌で感じ、ボランティア活動の新しい形も生まれているようです。

西条ライオンズクラブも時代に対応しながらしかし50年の伝統を受け継ぎながら100年への一歩をまたともに歩きだしましょう。

ご協力いただいた全ての方に心から感謝しております。ありがとうございました。

50周年式典担当実行副委員長 明比紳一郎

昨年の6月24日、第1回50周年実行委員長が総合文化会館で開催され、1週間後の7月9日に第1回式典・祝宴・前夜祭・ゴルフ・総務委員会が商工会議所で開催された。

あれから約1年・・・。

そして、今、正に結果を出す時が来た。1年間の結果を、いや結成以来50年間の集大成を表現しなければいけない。その様な緊張した、力強い想いが50周年記念式典を迎える西条ライオンズクラブのメンバー全ての表情や動作に見られる。成功を信じ、仲間との絆を信じている動きである。



そして開会時間が近づく。時は止まらない。

場内アナウンス - 来賓入場 - 周年イメージビデオ - 開会宣言 - 開会ゴング - 国歌斉唱 - 献花・黙祷
- 会長挨拶 - 来賓祝辞 - 祝電披露 - 事業報告 - 閉会宣言 - 閉会ゴング、終わった・・・。

時計を見る、14:00ジャスト!

スタッフ、各々一生懸命役割を果たした。大成功である。素晴らしき西条ライオンズクラブ、そしてその仲間達、その様な感動が記憶に残る式典であったと思う。



結成50周年大会特集

『 祝50周年 万歳！！ 』

祝宴担当委員 伊藤正己

平成23年5月29日(日曜日) 待ちに待った、結成50周年記念大会。

滞りなく、大成功に終わることが出来たこと、役員・会員の皆様、ほんとうにお疲れ様でした。そして、御協力ありがとうございました。

終わってみれば、少し淋しい感もありますが、又これから、55周年60周年と歴史を積み上げていこうという想いも、増してまいりました。

式典では、沢山の来賓及び、ライオンズクラブ関係者の方々に出席を頂き、無事にとり行われました。フォーラムでは、中島啓江さんの講演、小学生のコーラス、そしてありがとうメッセージ表彰等、大変盛り上がった時間でありました。艶やかな振袖姿の2人のお嬢様がいっそう華を添えてくれました。お疲れ様でした。

祝宴は、会場暗転の中、小山貢山率いる津軽三味線が響き渡り、会場一同、一瞬にして耳を傾け聞き入っていたように思います。原 育雄第三副会長の元気な開宴宣言のもと、祝宴が始まりました。

来賓の方々よりお祝いの言葉をいただき、恒例の鏡開きを壇上にて、10名でとり行いました。やがて宴も進み、特別ゲストのレーモンド松屋さんの歌声に、手拍子しながら楽しみ、小山貢山さんとのジョイントコンサートも盛り上がりました。お手伝いいただいた奥様たちも、このコンサートには別室から会場へ足を運び、歌声に聞きほれていました。その後、4月24日、滝の宮カントリークラブにて行われた周年ゴルフ大会の表彰式があり、東予LCの井上彰二様が優勝者表彰されました。おめでとうございます。

時間が経つのも早く、祝宴も終盤を迎えました。加藤 茂大会委員長の「ありがとう」という気持ちの溢れた終宴の挨拶の後、参加者全員1人も帰ることなく総勢261名で手を繋ぎ、ひとつの輪となって、レーモンド松屋さんの伴奏、近藤基弘Lの指揮の下、「また会う日まで」を合唱。

最後、花山志郎4ZCの言葉に言い表せないほどの感謝の想いがこもったローアをもって滞りなくお開きとなりました。

司会の高橋夏海さんにも、大変御協力いただきありがとうございました。そして、担当会員の皆様もご苦勞様でした。祝宴終了後の打ち上げ反省会には、奥様方にも参加頂き、皆、口々に「よかった」との言葉。ホッといたしました。

最後に、1年間の準備を経て50周年記念大会を大成功に導いた事務局益田さん、大変ご苦勞様でした。



中島啓江講演会

～ 「 わたしから、ありがとう 」 ～

L・神野顕彰



一歩ずつ、一歩ずつの足どりを重ね迎える50周年記念式典前日の5月28日土曜の朝、準備に集う会員諸兄の晴れやかな気を感じつつ【ありがとうフォーラム】講師の中島啓江氏とマネージャーのお迎え役をゲットし、松山空港へ出発する。ジャンボタクシーを操るドライバーは初老の域にある(ヘッドは元老級?)・・・ひと月前の4月28日の夜、電話にて私を慌てさせた元会員の妻鳥氏である。極楽世界の寺田氏の思い出話、四国に接近する台風を心配しつつの道中となる。

初対面の出会いは緊張と興味とが交錯す不思議な時が流れる。ビッグママと称される中島氏は、爽やかな笑顔と大きな声で「ありがとう」であった。子どもの如き素直さと純真。そして、本当の「ありがとう」を全身で表現出来得るひたむきさは、車中の会話と当日の講演にて確信へと変わる。只、残念であったのは、会長以下数人(実行委員長、担当委員長、花山氏と私)とで前夜祭よろしく夕食を共にとお誘いしたが、明日の講演の準備、明後日に東京で行う自らの企画構成に専念したいと至極恐縮の面持ちに、重ねてお誘いをかける事は野暮であった。彼女たちの夕食は大方、コンビニのおにぎりか弁当であったであろうことは、マネージャー氏との会話で察しがついた。しかし、あのビッグな体を維持する食事とはいかなるものか興味深いところではあるが・・・さて、肩すかし気味の5名の前夜祭は、明日に向かって快気炎をあげつつ、又、講演会聴衆の入り、台風の進路を心配しつつ、勝手連の前夜祭はずかしく幕引かれる。

さて、日は変わり土砂降りの朝、誰もが記憶に残るであろう台風付きの50周年記念日のスタートとなる。講演会の聴衆の入りには十分な言い訳が保障された。あとはスムーズな進行のみに集中すればいい。しかし、大雨警報発令以後は台風とにらめっこである。フォーラムに参加する子供達の件、ビッグママの夕刻発のフライトの可否、マネージャー氏との相談等々・・・。無情の時は過ぎゆく。妻鳥氏にも心配りを戴きつつ、フライト欠航時はしまなみ海道を抜け福山駅まで走ることで了となる。

【ありがとうフォーラム】本番前のリハーサルをはじめ、台風に振り回されながら様々なご縁のおかげをもって順調に進行していく。そして、開会直前の激しく降る雨の中、続々とつめかける聴衆にほぼ会場が埋まり、いよいよ講演のスタートである。委員長はじめスタッフの顔に安堵の色漂う中、中島氏の鹿児島弁よろしくボルテージも最高潮。ご当地西条に御縁の深いトワエモアの「この街で」、秋川雅史の「千の風」の歌も講演の中でその豊かな声量と、優しく情感たっぷりに御披露しながら聴衆の心を強くひきつけていく。

そして、鹿児島での小学生の時代、転校することとなった前夜「同級生のみんなに挨拶なんかするもんか」と悩む私にお母さんが教えてくれた魔法の言葉・・・「ありがとう」で私の世界は変わった。友だちなんて一人もいないと思っていたのに、それも一番私をいじめていた子までが「本当にごめんなさい」と私に初めて優しく言葉をかえしてくれた。私は本当の「ありがとう」、この魔法の言葉で、この世のすべては変わること自信をもった。そして、先生や東京での生活、最も深い感謝をもつ母のことや、勝手放題に生きた、父の葬送時お棺に入れた手紙が感動である。この手紙の内容を紹介し、講演の要旨とする。「あなたが天国に行けるように、一生懸命祈ります。もし、天国へ行けたら母さんを探して、母さんを見つけたら、土下座をして謝ってください。

そして、優しく手を握って、ゆっくり歩いてあげて下さい。私が最初で最後に、あなたにこの言葉を贈ります。『お父さん、お母さんと出会ってくれてありがとう。』 ありがとうございます物質主義の考えが進み、現代に欠けてしまった「心」の復興に努める活動を今後も行いたいと頑張るビッグママである。毎年1月17日には、阪神淡路大震災の追悼コンサートを2011年で16年目を迎え、自身のライフワークとなっている。そして、心配した帰りの東京便も遅れることなく発進。本当に『ありがとうございます。』

私は、今、石鎚山のお山開大祭期間中にこの原稿を書いている。その最中、約2年半前の関東地方で発生した、英国美人教師暴行殺人事件の裁判が開廷される。裕福な家庭で育ちながらなぜこのような凶行に至ったか、又、2年半にのぼる逃走生活等、その真実が解明されようとしている。犯人の青年が著した手記の中に「・・・両親より感謝の大切さをいつも聞かされていたが、私にはその感謝の意味を未だ解らないでいる・・・。」といった意の内容が書かれていた。

「霊峰石鎚の神、下りゆく時脱稿す。」

ありがとうフォーラム

西条小学校コーラス部の皆さんによる素晴らしい歌声で幕があげられました。ありがとうのハーモニーがとても感動的でした。



ありがとうのメッセージ 特別賞（中学生の部） 紹介

『 嫌い・・・でも好き 』

お父さんなんか大嫌い。最近・・・ケンカが多くなって言い争いがずっと続いています。でも、それでも父は本当につらい時、苦しい時に言葉ではなく、大きな背中強く教えてくれる・・・。母とは違う、強く力強いやさしさで、私はきっとそのやさしさに小さいころから今まで守られてきたのだろう。だから私はそんな強く雄々しい父がとても大好きです。

「お父さん・・・ありがとう。」大嫌いじゃないからね。 西条市立西条西中学校 牟田口 真衣さん

4 Z 年次会合開催報告

5月15日(日) 1年間のゾーン活動締めくくりとなる「4ゾーン年次会合」が西条国際ホテルにて開催されました。現地区役員・地区委員並びに各クラブ役員の方々の表情には安堵感が見受けられる一方、名刺交換をしている次期の役員の方々の皆さん。毎年のことながら、対照的な光景でした。花山 ZC の人柄を表しているような、対話と温かみのある年次会合から懇親会へ。久しぶりに顔を合わせた4クラブのメンバー達にも笑顔が溢れ、和やかな雰囲気が会場全体を包み込みました。

ただ、自クラブの周年大会を月末に迎える花山 ZC だけは、「やれやれ」とまではいかなかったようで、頭の片隅に「50周年、50周年」という文字が離れず、一息つけるのはもう少し後になりそうです。花山 ZC、大変お疲れ様でした。





会長取り切り戦報告

ゴルフ部長 仁後真貴雄

晴れ晴れとした空の下・・・、というわけにはいきませんでした。6月12日(日) 今期最終コンペ並びに会長取り切り戦が滝の宮カントリークラブにおいて行われました。まずは、徳増会長による始球式でスタート！今回は参加19名で、例年に比べ少なかったにもかかわらず、皆さんベストを尽くし、終始楽しくプレーが出来、1年の締めくくりに対応しいコンペとなりました。終了後の総会では、1年間の会計報告と次年度のハンディキャップ、役員交代について報告がありました。皆様、1日お疲れ様でした。次年度も楽しくプレーできるよう、お互いに健康管理に留意しましょう。



記念事業実行副委員長 安藤憲正

何度も何度も書き直した作文。丸めて伸ばした、しわくちゃな作文。四角い升目いっぱい大きな文字が並んだ作文。わずか三行の作文・・・。



3,852通のメッセージには、優劣に関係なく、作文用紙に向かう3,852名の作者が「そこに居る」と感じさせてくれました。それをメンバー全員で繰り返し読んだ事が、この事業の大きな意義だったと私は考えます。

ありがとうの小冊子は、私たちライオンズクラブの大きな財産になると思います。

皆様、ありがとうございました。

ありがとうのメッセージ ~一般の部 【特別賞】~

中学の卒業式の後、私たちのクラスでは送別会が行われた。女子が作ったお寿司やカップケーキなどの料理で、楽しく最後の時間を過ごした。調理室でせっせと後片付けをしていると、「食うもん食うたし、いなせてもらうわ。」と男子が次々に帰って行った。あの態度！文句を言いつつ教室に戻ると、目の前の黒板には『ありがとう』の文字が。怒るの、ちょっと待てばよかった。感動した時、人はあったかい涙が出るんだね。

西条市 宮崎純子さん

ありがとうのメッセージ ~小学校高学年の部 【特別賞】~

お母さんがしかってくれたおかげで、片付けができるようになりました。お父さんがしかってくれたおかげで、野球が上手くなりました。おばあちゃんがしかってくれたおかげで、口ごたえをしなくなりました。おじいちゃんがしかってくれたおかげで、素直に謝ることができるようになりました。

今まで、みんながしかってくれたからこそ今の自分がある。みんな、しかってくれてありがとう。

丸亀市飯山北小学校 近藤加惟



東日本大震災復興義援金募金経過報告



2011年3月15日	献血会場にて募金活動	89,744円
2011年3月19日	第7回西条LC旗野球大会にて募金活動	56,855円
2011年4月12日	4月第1例会にて募金活動	61,400円
2011年4月24日	50周年記念チャリティゴルフ大会にて募金活動	95,050円
2011年4月29日	第11回産業文化フェスティバルにて募金活動	7,592円
四国電力(株)西条発電所所長 山内様より復興への願いのこもった「四国電力西条PSルゾウ会」様からの義援金をお預かりしました。42,000円		
	クラブメンバーの事業所に募金箱を設置	254,825円
	50周年記念事業費より	392,524円



まだまだ支援の活動は続きます。送金先は確定次第順次報告していきます。



フィッシング&バーベキュー大会



スポーツ同好会部長 加藤弘道

50周年を終え、メンバー一同ホッと一息ついた6月19日(日) スポーツ同好会主催「フィッシング&バーベキュー大会」を開催しました。しかしながら、当日あいにくの天候により釣り船が出港できず、やむなく中止。砂浜で夏の陽射しを浴びながら予定していた「バーベキュー大会」は会場を変更して、某スポーツ同好会事務所前での開催となりました。本来なら海で泳ぐ気満々の子供達は、満腹になると水遊びを始め、元気に走り回っていました。

大人たちは贅沢な昼食に舌鼓、1年の労をねぎらう大変楽しいひと時となりました。都合がつかず参加できなかった伊藤修一郎Lには嬉しいドネーションを、花山志郎Lには元気になるドネーションを、また当日、越智英明Lには心が豊かになるドネーションをいただき、誠にありがとうございました。そして、料理長の伊藤Lは、毎回皆の為にせっせと調理していただき、感謝です。ご馳走様でした。またお願いします。



おしながき

- お刺身
- あこの炊き込みご飯
- 豚スペアリブ
- ホルモン焼き
- 焼きソバ
- ホルモン焼きうどん
- 焼肉 etc・・・
- デザート《枇杷》



今年新たに製作購入した大型鉄板がまたまた大活躍、それぞれ好みのものをジュージュー焼いてはパクリ。贅沢な食べ方ですね。

【編集後記】

「西条ライオンズクラブ結成50周年」も皆様のお陰をもちまして無事終わることができました。PR広報委員会では50周年記念誌を担当させていただきましたが、委員長である私がおっとりしていたため、ギリギリの入稿となり、非常にスリムな記念誌となりました。

本年度は3.11の東北大震災により被災された方や福島原発による放射線被爆などで大変ご苦労をされている方がたくさんいらっしゃいますが、1日も早く平和で安全な生活が出来る様にお祈り申し上げます。最後になりましたが、1年間本当にありがとうございました。

PR・広報委員長 近藤基弘

発行所 ライオンズクラブ国際協会 336A地区 2R4Z
西条ライオンズクラブ
事務局 〒793-0027
西条市朔日市 779-8
西条商工会館3F
TEL (0897) 56-3980
FAX (0897) 56-9251
E-mail saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp

発行者 会長 徳増達史
幹事 福島讓
PR・広報委員長 近藤基弘
編集委員 越智英明 ・ 加藤 茂
松浦 裕 ・ 原 育雄
高木和幸
例会日 第2・第4火曜日 (変更になりました)
例会場 西条国際ホテル (")
印刷 西条ライオンズクラブ事務局